

2020年度 道徳授業（高等部43期）

		第1回	第2回	第3回	第4回
クラス	担任				
1組（9名） 10組（35名）	内山 田中一	山田先生 「福祉社会」	山本宏先生 「働くことの意義」	千葉先生 「文化の多様性」	平野先生 「友人の多様性を受容する」
2組（9名） 11組（35名）	清水 田中一	竹中先生 「なぜ私たちは学ぶのか」	貝森先生 「国際社会に生きる」	山田先生 「福祉社会」	山本宏先生 「働くことの意義」
3組（6名） 4組（6名） 12組（35名）	森 田中一	平野先生 「友人の多様性を受容する」	青野先生 「ルールについて考える」	遠藤実先生 「命の尊さを知る」	竹中先生 「なぜ私たちは学ぶのか」

		第5回	第6回	第7回	第8回
クラス	担任				
1組（9名） 10組（35名）	内山 田中一	青野先生 「ルールについて考える」	遠藤実先生 「命の尊さを知る」	竹中先生 「なぜ私たちは学ぶのか」	貝森先生 「国際社会に生きる」
2組（9名） 11組（35名）	清水 田中一	千葉先生 「文化の多様性」	平野先生 「友人の多様性を受容する」	青野先生 「ルールについて考える」	遠藤実先生 「命の尊さを知る」
3組（6名） 4組（6名） 12組（35名）	森 田中一	貝森先生 「国際社会に生きる」	山田先生 「福祉社会」	山本宏先生 「働くことの意義」	千葉先生 「文化の多様性」

全8テーマ

※火曜1校時実施（8:25-9:35）

「働くことの意義」・・・山本宏先生
「文化の多様性」・・・千葉先生
「友人の多様性を受容する」・・・平野先生
「ルールについて考える」・・・青野先生
「命の尊さを知る」・・・遠藤実先生
「なぜ私たちは学ぶのか」・・・竹中先生
「国際社会に生きる」・・・貝森先生
「福祉社会」・・・山田先生

1. 道徳ノートの書き方

- ①ノートは縦書きとする。
- ②最初に「講話のテーマ」「担当の教師名」「実施日」を書くこと。
- ③講話の内容は要点を書くこと。
- ④感想はノートの1ページ分は必ず書くこと。（最後の行まで）
- ⑤感想はよく考えて、自分の考えをしっかりと書くように努力すること。
- ⑥文字は乱雑にならないように丁寧に書くこと。

2. ノートの提出について

- ①ノートはその週の木曜日に提出すること。
- ②ノートは担当の先生が読みます。また、クラス担任の先生がコメントを書きます。